

ネットラーニンググループ

特別な休暇制度活用事例

- 不妊治療休暇
- 研修休暇



ポイント1

社員のニーズから
休暇制度を作る

ポイント2

一人ひとりの能力を
高める休暇制度



積極的にさまざまな休暇制度を導入し、社員の活躍を推進する!

ネットラーニンググループは、eラーニングを利用したさまざまな教育ソリューションサービスを提供する5つの会社で構成されています。グループ全体の従業員数は150名。大きくライフステージが変化する30代の社員をはじめ、ワーキングマザーや外国人社員など多様な人材が在籍しています。一人ひとりが生き生きと活躍できる職場環境の整備に努め、ワーク・ライフ・バランスを推進。その取組の一つである休暇制度について、経営企画部 人事総務課の小林紋子課長にお話を伺いました。

法人概要

[設立] 1998年
[事業内容] eラーニングを利用したソリューションサービス
[従業員数] 150名(2016年8月現在)

[年次有給休暇の取得率] 87.9% (2015年度実績)
[年間休日数] 125日
[URL] <http://www.nl-hd.com/>

社員を思う気持ちがかたちになり、新設された不妊治療休暇

社員からの要望で、「不妊治療休暇」を新たに導入しました。人によっては長期間にわたってしまうこともある不妊治療。休暇日数は年間で20日間、時間単位でも取得可能とし、通院の際に使いやすくしました。対象者が限定される制度なので、無給にすることで公平性を保っています。会社公認で休める環境づくりが、本人の精神的負担を少しでも取り除くことができると考えました。こういったプライベートな要望が上がってくるのは、生活と仕事の両立が実現できる環境整備は会社としての義務であり競争力の源であるという経営者の考えや、風通しのよいオープンな社風が根付いているからと考えています。社員はいろいろな事情を抱えています。悩みを解消することで、仕事の効率が上がるのであれば、会社としてできることを検討し、可能な限りサポートしたいと思っています。

休暇制度があるけれど休みづらい、そんな理由で社員が辞めてしまったら、それは会社にとっても、一緒に働く仲間にとっても大きな損失です。育児、介護、病気療養のための休暇制度は、将来さらに必要になるでしょう。社員の声に耳を傾けて、意味のある休暇制度を積極的に導入していきたいと考えています。

5日間の休暇と費用の補助で、自己研鑽をバックアップ!

当社は、イノベティブな人材の育成、多様な人たちが活躍できる職場づくりを目指しています。新しい価値創出のために

は、視野を広げ、職場以外での人脈の構築やスキルアップの時間が必要。そこで導入されたのが「研修休暇」です。勤続9年目に、連続5日間の有給の特別休暇が付与され、研修費用の補助として一律10万円が支給されます。事前に研修計画書を作り、休暇取得後にはレポートの提出が求められますが、あとは自由です。会社では得られない経験をして自分を磨こうというのが趣旨ですから、ボランティア活動に行ったり、本場のフランメンコを観に行ったり、人によって使い方はさまざま、自己研鑽や異文化交流のために大変有効に活用されています。また、勤続9年目以降は5年ごとに取得が可能。仕事のモチベーションや職場の定着率アップにも貢献しています。

高い休暇取得率と休暇制度の二次的効果

経営トップが、ワーク・ライフ・バランスの重要性を繰り返し発信し、経営者層や管理職層が率先して休暇を取得しています。会社からも積極的な取得を呼びかけていることが、87.9%という年次有給休暇の高い取得率につながっていると思います。お互いさまの精神が浸透して、社員同士でフォローする雰囲気も育まれたことも理由の一つかもしれません。

先日、求人募集した際、2、3名の中途採用枠に対して、1,000人を超える応募を頂きました。ワーク・ライフ・バランスの推進状況や考え方について記載したことも、求職者が応募する動機の一つになったのではないかと考えています。

会社と社員、双方にとって多くのメリットがある特別な休暇制度。業界のリーディングカンパニーとして、今後も積極的に導入していきたいと思っています。



休暇を取ることで、チームメンバーとの信頼関係がアップ 社員全員に平等な休暇制度のおかげです

カスタムサービス事業部 副事業部長 牧野容子さん

勤続9年目、ずっと楽しみにしていた研修休暇を利用しました。その頃、あまり体調が優れず、生活リズムも乱れ気味だったため、まずはこの状態を改善したいと考えました。土日を合わせた7日間をフルに活用し、断食道場に入り、3日間の断食と、残り3日間の回復食。体調も生活リズムも見事に改善し、本当に有意義な時間を過ごすことができました。さらにうれしかったのは、休暇に入る前、チームメ

ンバーから、私が不在中のシミュレーションをしようと申し出があったことです。おかげで安心して休むことができました。本当に頼りがいのある誇らしいチームメンバーで、休暇前よりも信頼感が増しました。誰かが研修休暇を取るときは、周囲のメンバーはいずれ自分が研修休暇を取ることになるので、積極的にサポートします。社員全員に平等な休暇制度を作ってくれた会社には、本当に感謝しています。



左/小林さん、右/牧野さん